

2017 年度（平成 29 年度）事業計画書

公益財団法人 滋賀県国際協会

I 基本方針

情報通信技術 (ICT) の著しい進歩や経済のグローバル化の進展等により、ヒト、モノ、カネ、情報が地球規模で往来し、国際社会での出来事が私たちの日常生活にまで大きな影響を及ぼすようになって既に久しくなっています。

滋賀県内において、2016 年（平成 28 年）12 月末の外国人人口は 25,040 人で、86ヶ国 1 地域の方々が暮らしています。

1990 年（平成 2 年）の「出入国管理及難民認定法」が改正施行されてから 2008 年（平成 20 年）の外国人登録者数がピークの 32,000 人を超えるまでは、滋賀県では南米出身者を中心とした外国人が多く来日していました。しかし、近年では、南米出身者の増加は落ち着いているものの、ベトナムやフィリピン、インドネシアなどの東南アジア出身者が急激に増加しています。また、外国人人口の在留資格別の内訳をみると、2016 年（平成 28 年）6 月末の滋賀県の永住者は 35.4%、特別永住者は 16.8%、定住者は 15.5%、日本人配偶者等、永住者の配偶者等をあわせると約 76.6%は定住化傾向にあることがわかります。

また、今後ますます世界のグローバル化、ボーダレス化が進展する中であって、私たち一人ひとりが国際社会の一員としての自覚や国際社会との連帯意識を持つこと、そして、多様な人々と共に生きていくことを受け入れる姿勢が必要となってきます。特に若い世代間の交流を促進するなどして、グローバルな舞台で多様な人々とともに積極的に活躍できる人材の育成が必要とされています。

滋賀県では、国際交流等のボランティア活動や外国人住民との共生に向けた地域課題、地球規模での環境をはじめとする諸問題などに対する社会的関心の高まりから、国際交流・国際協力、多文化共生社会づくりなどの取り組みを主体的に行う県民や民間団体が増え、その活動も活発化しています。

こうした中、当協会は第 2 期中期計画に沿って、あらためて自らの使命と展望を明確にし、「国際感覚に優れたひとづくり」、「多文化共生の地域づくり」、「ボランティア、民間団体の活動促進」および「情報収集・提供による環境づくり」を目指し、総合的・計画的に事業を推進します。

Ⅱ 重点的に推進する施策

第2期中期計画の実施に沿い、地域の次代を担う外国にルーツを持つ子どもたちも幅広い選択肢の中から、自らの将来像を描き、自立した人材として、また、地域に活力を与えられる人材として成長することを目指します。

また、国際交流を積極的に推進し、県民の国際理解を深め、誰にとっても暮らしやすい、豊かで活力に満ちた魅力ある地域づくりに貢献するため、情報提供の充実をはかります。

○ 外国にルーツを持つ子どもの教育支援

外国にルーツを持つ子どもの総合的な進路支援を行うために、進学のみならず就労に関する情報を得る機会を子どもと保護者に提供する場として、また、より早い段階から職業観等を身に付ける場として、小・中・高等学校生や保護者を対象に、外国語対応による進路フェアを開催し、進学、就労に向けた支援を行います。

- ・ 進路フェアの実施
- ・ 日本語指導者養成講座の開催

○ 情報収集・提供事業

国際分野における専門性の高い内容や外国語での情報を中心にホームページやFacebook等により、身近で親しみやすい形で情報発信に努めます。

- ・ 県民の方々がホームページ(Facebookを含む)を閲覧する機会が増えるよう、関心の高いテーマやニュースを重点的にアクセスしやすい形で提供します。
- ・ ホームページのリニューアルにより、スマートフォンやタブレットなどのマルチデバイスから情報が取得しやすくなったことから、さらに情報の多言語による発信を強化します。

Ⅲ 事業計画

新：新規事業、**拡**：拡充事業、[助成]：助成事業、[補助]：補助事業、[委託]：委託事業

《 国際感覚に優れたひとづくり 》

1 国際教育啓発事業

(1) 国際教育・開発教育の普及 [324 千円]

① オリジナル開発教材の普及

独自に開発した国際教育教材の普及を図るため、ワークショップの開催や講師派遣による実演、教材の貸出、販売等を行います。

- [開発教材] ・「ブラジルボックス」 ・「カルタ わたしん家の食事から」
・「非識字体験ゲーム『ここは、何色?』『はじめてのお見舞い』」
・「『言葉がわからない』体験ゲーム 何が起こった?(震災編)」
・「わたしん家の食事から カードゲーム版」

② 国際教育教材体験フェアの開催

国際教育に関する教材や支援の活用促進のために、実践者対象の教材体験フェアを開催します。

- ・開催日：2017年6月25日(日)
- ・会場：ピアザ淡海
- ・参加予定人数：50人

③ 国際教育教材の貸出

国際教育・開発教育教材の充実に努め、広く活用が図られるよう貸出を行います。

- ・所蔵数：633冊/点(2017年3月末現在)

(2) 国際教育の研究 [73 千円]

① 国際教育研究会「Glocal net Shiga」による研究

開発教育を取り入れた国際教育の普及に向け、様々な異なる分野のメンバーが定期的に集まり情報交換を行いながら、滋賀の特色を生かした題材をとらえ、地域の課題の解決に向けた教育的アプローチによる取り組みを研究します。

月例会の開催

② オリジナル教材普及促進のための講師派遣

オリジナル教材を活用した授業・研修等に対して講師を派遣し、教材活用の普及および販売促進に努める。

- ・派遣数：15件程度
- ・対象：県内の学校および各種研修会等

(3) 国際教育の担い手の育成

① ファシリテーター養成講座の開催 [231 千円]

各学校や地域で国際教育を担当する教員および民間団体等のファシリテーターを養成します。

- ・開催回数：年1回
- ・参加予定人数：40人

② 国際教育の相談対応・出張講座のコーディネート [95千円]

これまで協会において実践してきた授業プログラムや、全国の国際教育に関する実践例、地域リソースの情報等を提供し、地域での国際教育普及のための相談対応に努めます。また、国際教育に関する講座のプログラムのコーディネートおよび講師の派遣に対応します。

③ 「国際教育」に関する教員研修への参画

滋賀県総合教育センターより依頼を受け、「国際理解」に関する「中堅教諭等資質向上研修」を開催します。

[中堅教諭等資質向上研修「国際理解」]

- ・開催日：2017年8月21日（月）
- ・会場：ピアザ淡海
- ・参加予定人数：20人 小・中・高・特別支援学校の10年経験となる教職員

2 国際交流推進事業

(1) 裾野を広げる国際交流 [68千円]

滋賀県で活躍する外国人と協働し、気軽にできる国際交流・異文化体験の場を提供し、グローバル人材の育成を図ります。併せて、分野の異なる他団体の事業と連携して実施することにより、様々な県民の方に国際交流を体験し、関心を持ってもらい、国際交流の裾野を広げます。

① 子ども多文化体験プログラム

「めざせカポエイリスタ！華麗なジンガステップを身につけよう♪

& ブラジルのお話」

- ・開催日：2017年4月30日（日）
- ・会場：ピアザ淡海（大津市）
- ・対象：子どもとその保護者等
- ・連携：公益財団法人びわ湖ホール「ラ・フォル・ジュルネ2017びわ湖」
滋賀次世代文化芸術センター「にゃんばら先生の音楽アトリエ」

② 外国人アーティスト展

滋賀県在住外国人アーティスト展を開催し、多様で豊かな文化を実感してもらうとともに、国際交流に関心を持つ県民の裾野を広げます。

- ・開催日：1回（2週間程度）
- ・会場：ピアザ淡海 ロビー
- ・連携：滋賀県立県民交流センター

(2) ミシガン州立大学連合日本センターの管理運営 [67,994千円] [委託]

ミシガン州立大学連合日本センターの施設の維持管理および運営推進業務を県から受託し、センターの英語プログラムの企画推進および滋賀県とミシガン州との文化、教育等の交流促進を図り、地域における国際交流の拠点づくりに努めます。

① 施設の維持管理・長寿命化対策

センターの各種プログラムの受講者や教職員のニーズを的確に把握し、快適な環境で施設を利用できるよう適切な施設の維持管理を行うとともに滋賀県策定の「長期保全計画」に基づいた施設の予防保全工事を行います。

② プログラムの運営支援

センターが開催する英語プログラムの円滑な企画推進を図るため、センターの英語プログラム教官や関係機関等との連絡調整を図り、広報活動を積極的に行います。

- ・県民向け英語プログラムパンフレットの作成・配布

作成部数：4,000部／回

作成配布：4回（夏季、秋季・冬季、春季）

- ・国内留学プログラムちらし・ポスターの作成・配布

作成部数：ちらし1,000部／回、ポスター100枚／回

作成配布：2回（秋季、春季）

- ・こども英語教室ちらしの作成・配布

作成部数：2,000部／回

作成配布：1回（春季）

- ・ニューズレターの作成・配布

作成部数：4,000部／回

作成配布：2回

（3）ミシガン州立大学連合日本センターの地域との交流プログラム等の実施

センターで学ぶ留学生に県内各地域で開催される様々な事業、イベントへの参加機会を紹介し、相互理解の促進と地域の活性化を図ります。また、異文化交流促進のためセンター施設を活用しながらセンターと地域との交流推進を図ります。

センターの学生の日本の文化、風俗、習慣などについての理解をより一層深めるため、ホームステイのコーディネートを行います。

地域社会の国際化と国際理解に貢献するため、グローバル人材の育成に焦点をあてた公開講座を開催するとともに、地域住民等からのミシガン州の州立大学への留学などの留学相談に対応します。

- ・公開講座の開催 回数：年3回（25人／回）

- ・JCMU留学生と親子で英語ハイキング（参加予定留学生15人、親子20人）

（4）ミシガン州友好親善使節団の受入 [213千円]

ミシガン州からの使節団を受け入れ、県内姉妹都市を中心とした、一般家庭でのホームステイ体験などを通じて、両県州民相互理解と交流を促進する。

また、2018年度に姉妹都市提携50周年を迎えることから2017年度より2カ年にかけて県において各種記念事業を実施します（協会サポート）。

- ・受入人員：40人

- ・受入期間：2017年9月6日（水）～14日（木）（うちホームステイ4泊5日9/9～13）

(5) 姉妹友好州省等交流代表団の受入等 [2,753 千円] [委託]

滋賀県姉妹友好州省からの交流団を受け入れ、友好交流を促進します。

3 国際協力促進事業

海外技術研修員の受入 [2,514 千円] [委託]

中南米の海外県人会および姉妹友好州省（湖南省）から技術研修員を本県に受け入れ、県内企業・関係機関等の協力を得て、専門技術習得の場を提供します。

- ・受入人員：2人
- ・受入期間：4ヶ月間

《 多文化共生の地域づくり 》

1 外国人住民への支援事業

(1) 外国人相談窓口の設置 [9,499 千円] [補助]

① 外国人相談窓口の開設

県内の外国人住民等からの様々な相談に対して、必要な情報の提供や助言を行います。

- ・ポルトガル語、スペイン語の相談窓口開設
(月曜日～金曜日、10:00～17:00)
- ・フィリピン語（タガログ語）の相談窓口
(月曜日～木曜日、10:00～17:00)

② 外国人相談員等連絡会議・研修会の開催

県内の市町で活動する相談員等を対象に、情報交換のための連絡会議、資質向上のための研修会をそれぞれ開催します。

- ・連絡会議：年2回
- ・研修会：年2回

(2) 外国人向け情報紙「みみタロウ」の発行 [874 千円] [補助][自主]

県内に在住する外国人住民等が必要とする生活情報を提供するため、ボランティアの協力を得て「みみタロウ」を8言語で発行します。

- ・発行回数：年4回
- ・発行部数：日；3,400部、英；2,600部、ポ；4,300部、ス；2,400部、ハ；1,500部、中；2,400部、台；1,300部、タ；2,100部
計 20,000部/回

※2011年（平成23年）10月よりイオン草津・八幡・長浜の店舗でも配布中

※タガログ語は2015年（平成27年）6月より発行開始

※2017年度より発行回数を6回/年から4回/年へ変更

(3) 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援 [助成][自主]

外国にルーツを持つ子どもや保護者を対象に、多言語での進路ガイダンスの開催による進路情報提供の徹底に努めるとともに、高校や大学卒業後の自身の将来に幅広いビジョンを持てるよう進路選択のサポートをします。

① 外国にルーツを持つ子どもへの進路フェアの開催 [1,065千円]

外国にルーツを持つ子どもの総合的な進路支援を行うために、進学のみならず就労に関する情報を得る機会を子どもと保護者に提供する場として、また、職業観を身に付けるには、より早い段階からアプローチすることが有益であるため、キャリアデザイン研修の参加対象を小学校高学年へと引き下げ、従来の「進路ガイダンス」と「職業人と語る会」を統合した『進路フェア』を新たな試みとして開催します。この事業は、県や市の教育委員会等と連携して実施します。

- ・進路フェア：2017年7月30日（日） 会場：G-net しが（近江八幡市）
- ・参加予定人数：90人程度 職業人ゲスト12人 参加者 80人（保護者・子ども）

② 外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座の開催 [106千円]

公立小中高等学校において、日本語指導が必要な児童生徒に対して指導にあたる加配教員、母語支援員、日本語指導や地域で学習支援を実施するボランティアへの資質向上とネットワークづくりを目的に、指導者を対象とした養成講座を開催します。

- ・テーマ：「DLA～外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメント～の活用について」
- ・開催回数：2017年8月上旬
- ・参加予定人数：30人

(4) 災害時外国人支援 [120千円]

① 災害時外国人サポーター登録および研修

災害時の通訳等の外国人サポーターの登録者を拡大し、近畿地域国際化協会連絡協議会等において実施される研修や多言語支援センター設置訓練等への参加を募ります。

- 災害時外国人サポーター養成講座の開催（滋賀県主催、当協会共催）
- 近畿地域国際化協会連絡協議会共催研修等への参加
 - ・実施研修：年2回程度
- 防災から広げる共生のまちづくり事業推進のためのサポート

② 多言語非常持出袋、防災多言語資料の貸出・配布

地域の防災活動や交流イベントの際に、外国人参加者向けに防災意識と知識向上のための資料として活用できる非常持出袋の貸出しや資料の配付を行います。

- ・多言語表示シート付き非常持出袋：2セット
- ・防災多言語資料：国際情報サロンにて展示、貸出
- ・「地震対策シリーズ（8言語）」の配布

③ 消防職員対象 緊急・災害時外国人対応に関する研修への講師派遣

県消防学校において、言葉や文化の違いがある外国人に対応するための消防職員向け研修のコーディネートを行う。

- ・開催日：2017年7月11日（火）
- ・会場：滋賀県消防学校（東近江市）
- ・対象：初任者研修

④ 近畿ブロックでの災害時外国人支援体制の検討および研究会への参加

近畿の地域国際化協会で構成する「災害時の外国人支援に関するネットワーク近畿ブロック研究会」の一員として、引き続き広域連携の強化を図り、同研究会で開催する研修会や訓練の参加により災害時の広域連携マニュアルの実効性を検証し、予防対策と発災後対応（応急対策）の両面からの支援体制づくりを行います。

- ・研究会：年4回
- ・協議会共催研修、訓練への参加：随時

（5）その他の外国人支援 [219 千円]

① 日本語教育の支援

びわこ日本語ネットワーク（BNN）と共催し、日本語指導のスキルアップを図るため指導者養成講座を開催するとともに、「BNN外国人によるスピーチ大会」の開催に協力します。

ア．指導者養成講座

- ・開催回数：4回
- ・参加予定人数：50人

イ．「第14回BNN外国人による日本語スピーチ大会」への開催協力

- ・共催金：15万円
- ・その他：滋賀県国際協会会長賞の授与

② 県内日本語教室および外国人相談窓口の情報の提供

県内各地域で開催されている日本語教室や相談窓口の情報をホームページ等で提供します。

④ 日本語教育教材およびブラジル教科書の貸出

日本語教育教材等の充実に努め、広く活用が図られるよう貸出を行います。

- ・日本語教材蔵書数：216冊
- ・ブラジル教科書蔵書数：51冊

④ 多言語での情報の提供

外国語が通じる病院の情報提供、防災情報、多文化共生学校づくり支援サイト、多言語子育て情報サイト、生活Q&A 他

（6）外国籍学生等への奨学金の支給 [3,207 千円]

私費外国人留学生で県内の短期大学、大学および大学院に在籍する学生や、県内に居住する外国籍大学生で、経済的援助が必要と認められ、学習意欲が高く、学業成績の優秀な者に対し、生活の安定と学習活動を奨励するために奨学金を支給します。

びわこ奨学金支給 H29 年度支給内容（基金：3 億円）

- | | | |
|----------|-----------------|-----------|
| ・留学生 | 支給額：月額 20,000 円 | 支給人員：10 人 |
| ・外国籍大学生等 | 支給額：月額 20,000 円 | 支給人員：3 人 |

2 多文化共生によるまちづくり

(1) 防災から広げる共生のまちづくり [106 千円]

外国人が防災事業への参加をきっかけに地域やコミュニティと顔の見える関係やつながりを持つことができるよう、また、地域の人びとが外国人住民との接点を持つことで、地域にとって新たな気付きの機会となるよう、行政、地域住民および市町国際交流協会等が連携して行う防災活動の啓発および連携を行います。

- ・外国人住民を交えた地域での防災活動の普及啓発、訓練等の実施

(2) 多文化共生に関する事業支援及びコーディネート [108 千円]

多文化共生に関する全国の動向や事業に関する情報の提供および県内の多文化共生に関する相談に対応するとともに、県内各地で実施される多文化共生事業に対して協力や支援を行います。

《 情報提供・収集による環境づくり》

1 情報収集・提供事業

(1) 国際交流・協力情報誌「SIA しーあ」の発行 [802 千円] [補助・自主]

県内における国際交流・協力に関する情報を発信するため、「SIA しーあ」を発行します。

- ・発行回数：年3回
- ・発行部数：2,500部/回

(2) 国際交流情報のメールマガジンでの配信

メールマガジンを活用し、県内各地で開催・実施される国際交流事業等の情報発信を行います。

- ・発行回数：毎月1回

〔拡〕(3) 協会ホームページの運営 [529 千円]

ホームページや Facebook などを通じて、協会の活動や身近なイベント情報などを発信すると共に、最新の外国人住民関連情報やボランティア情報等も掲載するよう維持管理に努めます。また、スマートフォン等のマルチデバイスや外国人向けの情報発信の充実に対応したリニューアルウェブサイトを公開します。

- ・リニューアルウェブサイトの公開 6月上旬予定

(4) 国際情報サロンの運営 [2,890 千円] [補助] [自主]

国際情報サロンが、国際関係団体や人の交流、学習の場として多くの方々に活用してもらえるよう運営をします。

- ・交流スペースとしての貸出
- ・パネルおよびショーケース展示スペースの貸出

(5) 海外渡航の支援

① 渡航関係情報の提供

海外の安全情報、渡航に関する情報を県民に提供し、快適で安全な旅の確保と県民の国際交流の推進に努めます。

② パスポート用写真撮影等の実施

パスポート用写真の撮影を実施します。

撮影日および時間：月～金曜日、9:00～16:30

撮影場所：ピアザ淡海 パスポートセンター横写真室

撮影予定件数：14,400件

また、日本国際連合協会滋賀県本部が行うパスポート取得に必要な収入印紙および滋賀県証紙の販売事務を補助します。

③ 海外土産用カタログラック設置事業

《 ボランティア、民間団体の活動促進》

1 ボランティア活動促進事業

S I Aボランティアの登録・紹介、Eメール情報発信 [55千円]

「国際交流支援」、「ホームステイ・ホームビジット」、「通訳・翻訳」などの各ボランティアの登録とその活動の機会の拡大を図るとともに、関係各機関とのネットワークを充実させ、ボランティアの効果的な活動を促進します。

また、ボランティア情報の提供を行い、ボランティア活動への参画を促進します。

2 民間団体活動促進事業

(1) 滋賀県国際交流推進協議会の運営支援 [139千円]

県内において活動している各国際関係団体の情報の交換を促進し、相互の連携、協力の推進を図るために活動している滋賀県国際交流推進協議会の運営、活動に対し支援、協力をします。

(2) 国際交流活動推進セミナーの開催 [65千円]

県内において活動している各国際関係団体、ボランティア等の活動に資するための講演、事例紹介などのセミナーを開催し、民間団体の活動促進を図ります。

・開催回数：年1回

・参加予定人数：50人

(3) 民間活動団体等への支援

滋賀県国際交流推進協議会参加団体をはじめとする県内において活動している民間の国際関係団体との連携および支援を行います。

(4) JICAとの連携

JICA 滋賀デスクの国際協力推進員と連携し、国際教育での事業連携の他、国際協力に関する情報発信や相談を行います。

《 協会の基盤整備 》

1 会員および支援者の確保

当協会および実施事業をホームページ・SNS やマスコミ等の媒体を活用して、より広く県民の方々や企業・団体に広報することで認知度を高めます。その上で、公益財団法人である当協会事業の社会的意義や会員特典等を積極的に周知することで、より多くの会員獲得を目指します。特に、県民向けの各種事業の実施に際しては、当協会事業等について理解していただける良い機会と捉え、積極的に会員募集の案内を行っていきます。また、誰でも気軽に会員加入ができるよう、ホームページを活用して手続きの簡便化をはかります。

2 財政基盤の充実

当協会が、税制上、寄付金控除や損金算入ができる優遇措置のある公益財団法人であることから、引き続き、この有利性も活かして個人や企業から広く会員加入や寄付金を募ります。

また、低金利時代が続く中、運用益の確保が難しくなっていることから、事業の質を確保しつつ、経費の節減に努めます。

なお、引き続き、事業の企画・実施に当たっては、外部資金の導入を図るため、各種団体からの助成金の確保に努めるとともに、他の団体や企業と協働による事業展開も進めていきます。

< 自主財源率 >*

現在(2017年度予算)	第2期中期計画最終年度(2020年度)
22.9%	31%

*自主財源率算出方法

$$\text{自主財源率} = \frac{\text{自主財源}}{\text{経常収益}} \times 100$$
$$= \frac{36,323}{158,522} \times 100 = 22.91 \approx 22.9$$